

定例活動／12月23日（土） 「門松づくりと周辺整備」

伊藤 晶子

穏やかに晴れて気温もまばら。新しいメンバーも3名加わり、「暖冬でありがたいねえ。でも少し怖いね。」などと話しつつ、山根口へ移動。

午前は全員で門松づくりに集中。各自が作業を分担して昼食前に出来上がりました。今年は竹工作名人の森さんのノコギリの冴えで青竹の切り口が美しく仕上がりに、松、梅、南天などを添えると見事な出来栄となりました。散歩途中の人々も足を止めて見ほれていました。

午後は滞っていた諸々の作業に精を出しました。山根口付近の竹林を切り払った場所にヒコバエガでできたので、それを刈り取ると赤い実を付けたヤブコウジやセンリョウが元気に育っていました。小屋近くの梅林の下草刈りと枝の剪定で周囲が明るくなりました。また、野辺の小径北側のマダケに大量のテングス病が出てきたため、この場所は森にすることにしてマダケを切り倒しました。

作業終了後は全員がぐったりと



▲年を重ねる度に手際も良くなり、出来栄も大満足！

なりましたが、森の健康のためと思えば心地よい疲労でした。

第5回雑木林塾／1月14日（日） 「雑木林の野鳥たち」

小池 敦夫

野鳥の会会員の古澤頼一さんを講師としてお招きし、参加者13名で第5回の雑木林塾を開催しました。

快晴の中、カラスに追われたハイタカやオオタカを観察しながら、毎年恒例の巣箱の清掃を行いました。巣箱は主にシジュウカラが利用できるように入り口として直径2.8cmの穴をあけ、毎年4～6月の繁殖期にシジュウカラが利用し、その後土蜂などのハチ類が巣を作るためのものです。そのため、毎年冬の間に中を掃除してやる必要があります。

昨年度は営巣率1割強と寂しかったのですが、今年は営巣率3割、途中放棄やねぐら利用も含めると7割近くもあ

り、掃除のしがいもありました。シジュウカラは1年で12万匹以上もムシを食べると言われており、森の生態系維持に重要な役割を持っているとの事。今さらながら森の野鳥たちの働きを再認識した3時間でした。



▶ 竹の棒を巧みに操って巣箱を降ろし、中の掃除をして再び元の場所にか

会員募集中！

このクラブは、相生山緑地オアシスの森を活動の場として、昆虫、鳥類を含めた、多様性のある森づくり、環境づくりなどのフィールドワークを行い、会員同士のふれあいや、オアシスの森を通じて地域の人との交流などを行う、楽しい集いです。

具体的な活動内容は

- ◆オアシスの森を訪れる人々に、自然観察の方法や楽しみ方を知ってもらえるよう案内する。
- ◆公園管理者と協力しながら、オアシスの森での植生管理作業を行う。
- ◆植物、野鳥や地形、地質、気象などの調査を行う。
- ◆柴刈り大会や自然観察会などのイベントを適宜行う。
- ◆その他、目的を達成するために必要な事業を行う。

○会費は年間1,500円（保険料含む）です。主に連絡、郵送費です。

○振り込み先（郵便局）

オアシスの森くらぶ 00860-7-33725

連絡は事務局までどうぞ

定例活動スケジュール

集いの広場
10時集合

2月24日(土) アカマツ林再生プロジェクト

3月24日(土) 雑木林の味わい方

第6回雑木林塾を兼ね、白石公二さんを講師に迎えて森の恵みを存分に味わいます。

4月28日(土) 2007年度総会

次年度の活動内容などを決めますので、是非ご参加下さい！

ホームページ管理・作成 スタッフ 大募集!!

“森くらぶのホームページをもっと楽しくしたい！” “定例活動には出られないけど、自宅できるとなら手伝いたい”等々、ホームページに興味のある方、是非ご一報を!!

【連絡先】

masashi_k@muf.biglobe.ne.jp（近藤）

情報センター

■参加申込みやお問合せなど

事務局

伊藤百寿人 052-895-8523

中島己治男 052-803-9534

■ホームページをご覧下さい

URL address : <http://f44.aaa.livedoor.jp/~oasis/index.html>

★ ニュースレターのカラー版（PDFファイル）がダウンロードできます。

★ 定例活動・特別活動の報告や予告（チラシ）を随時更新しています。